

民間医療ネットワーク

災害に備え初発足

AMDAなど

が話し合われ、最後に、全国病院協会の新垣哲理事が

緊急医療ネットワーク発足を宣言した。AMDAの近藤祐次事務局長は「経費など課題もあるが、ネットワーク設立自体に意義がある。全国に協力を呼び掛けたい」と話していた。

アジア医師連絡協議会（AMDA、岡山市榴津）、日本医師会などは十六日、神戸市内で「地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム」を開き、「災害発生から七十二時間以内に緊急医療を実施できるシステム」として、日本で初の民間病院の緊急医療ネットワークの発足を宣言した。

フォーラムは午後二時から神戸市中央区の兵庫県医師会館で始まり、医療関係

者五十人が参加。市内の民間病院の院長三人が阪神大震災での体験をスライドで紹介し、神戸朝日病院の金守良院長が「個人的関係で物資を確保したが、公立病院だけでなく民間病院の連携が急務」と述べた。

続いて、AMDAの菅波茂代表らが災害時に拠点となる病院の機能充実や輸送、通信手段の確立などを提案。インターネットを使った災害情報の共有化など